

## 彦根商業高等学校セミナーハウス（現：彦根翔陽高等学校）

所在地  
構造規模  
基礎地業

彦根市芹川町580

S造地上2階

既製高強度鉄筋コンクリート杭（打撃併用工法）

延床面積 505.07㎡

工期 平成6年2月～平成6月7日



当施設は、宿泊研修を通じて生徒間相互の連帯感を高め、併せて自主性を養い、人間育成を図るための施設として、県下の高等学校に順次建設されてきたものであり、当校においても校舎の整備に併せて建設された。

学校敷地が住宅地の閑静な環境にあり、生徒の構成も女子が中心となっていることもあって、建築デザインにも柔らかさとスマートさの表現を心がけた。

## 神領（大津）県営住宅

所在地  
構造規模  
基礎地業

大津市三大寺

RC造地上4階

既製高強度鉄筋コンクリート杭

延床面積 5,193.00㎡

工期 平成6年7月～平成7年5月



神領団地は、平成元年より建替を始め、順次整備を進めており、今回は本格的な高齢化社会の到来に備え、高齢者が地域社会の中で、自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう、支援施設としてのデイサービスセンター、団らん室および高齢者の生活援助を行うアドバイザー（LSA）用住宅を合築した県営住宅として建設したものである。

住宅の構成は、1DK 8戸、2DK 29戸、3DK 33戸で、そのうちシルバーハウス 8戸は緊急通話等の通報システムの設置、引き戸タイプの玄関戸、高さ調整可能な流し台の設置、浴室、トイレ等の手摺の設置など身体の老化に対応できる設備が施されている。

## 朝日ヶ丘（大津）県営住宅（A棟）

所在地  
構造規模  
基礎地業

大津市朝日ヶ丘一丁目  
R C造地上6階  
既製高強度鉄筋コンクリート杭

延床面積 3,409.76㎡  
工期 平成6年3月～平成7年10月



当施設は、昭28年から昭和34年にかけて建設された県営住宅団地で、老朽化と共に生活様式の変化等に伴い、団地全体をリニューアルし、全体を6工区に分け段階的に整備を進めていく計画の中で、初段階の工事として建設されたものである。県営住宅としては初めての高層住宅で、エレベーターの設置も初めてのものであった。

住宅の構成は、2DK 25戸、3DK 20戸、4DK 2戸となっている。また、景観上も勾配屋根を設け、背面の山の縁になじんだものとなるよう配慮されている。

## 県立大学

所在地  
構造規模  
基礎地業

彦根市八坂町2500  
R C造、S造地上3階  
既製高強度鉄筋コンクリート杭

延床面積 41,293.00㎡  
工期 平成5年10月～平成7年3月



滋賀県が、人と自然とが調和する湖国滋賀ならではの総合大学を設立することとし、彦根市の琵琶湖畔に近い田園にその敷地を求めた。学部の構成は、環境科学部、工学部、人間文化学部の3学部で290,000㎡余の広大な敷地に、管理棟を中心に環壕集落をテーマとして、マスターコードを守りながらブロック別にそれぞれの設計者の特色を生かした各学部の建物群でまとめあげられた。

全体イメージとしては、各建物を分散配置し、瓦葺きの勾配屋根、壁面開口部の制限、回廊性の配置、軸線の設定など相互調整を図りながらまとめられたものである。

限られた工期の中で開学に間に合わせるために、関係者の細部にわたる調整と協力によって新しい時代に対応する特色ある大学が完成し、21世紀に向かっての基盤となる施設として大きな役割を果たすこととなる。

## 計量検定所

所在地  
構造規模  
基礎地業

草津市川原町149-1  
RC造地上2階  
既製高強度鉄筋コンクリート杭

延床面積 1,354.47㎡  
工期 平成6年6月～平成7年3月



当施設は、法に基づき定期的な検査が義務づけられている計量機器についての公的な試験機関として設けられているものであるが、大津市の県庁内にあった旧施設が老朽化したため、利用者の利便を配慮し、移転新築したものである。

## 滋賀県立芸術劇場・びわ湖ホール

所在地  
構造規模  
基礎地業

大津市打出浜なぎさ公園打出の森内  
SRC造、S造地上4階地下2階  
既製高強度鉄筋コンクリート杭（打撃併用工法）

延床面積 28,940.87㎡  
工期 平成7年3月～平成10年3月



滋賀県における舞台芸術の拠点として多様なニーズに応えるため、最高水準の劇場を用意し、次の時代に向かってより生き生きとした豊かな文化を根付かせることができるようにとの願いで設けられたものである。

建物の特色としては、国内有数の4面舞台を備えた大ホールをはじめ、中ホール、小ホールがあり、それぞれが、最高の舞台設備と音響空間を持ったものとして計画されており、オペラ、ミュージカル、バレエをはじめ、コンサート、演劇など多彩な公演に活用されるための機能を備えている。

建物は、琵琶湖岸に面した公園の中にあつて、それらと一体の「パークアーキテクチャー」となっており、湖面から立ち上がる帆船の帆をイメージさせ、豊かな広がりを表現している。

内部においても大、中のホールホワイエから眺める琵琶湖の景観は素晴らしいものがあり、公園との相乗効果を醸し出すことができるように計画されている。

工事においては、湖面からの施工をはじめ、大工事に伴う多数の困難な点も、最高の技術を駆使しつつ克服し、完成をみることとなった。

## 長浜高等学校福祉科

所在地  
構造規模  
基礎地業

長浜市平方町  
RC造地上3階  
既製高強度鉄筋コンクリート杭

延床面積 1,639.47㎡  
工期 平成7年2月～平成7年10月



高齢社会における福祉の担い手や福祉の心をもった生徒を育てるため、長浜高校に福祉学科が新設され、その実習棟として福祉科棟を建設したものである。

建物には、介護者の入浴訓練のための入浴実習室、食事介護や調理実習のための家庭総合実習室、要介護者の日常生活訓練を行う介護実習室などを設け、関係のカリキュラムに対応している。

建物の外観は、既設の校舎につないで増築されたことから、違和感のないように配慮しながらも新しい学科をイメージ付けるデザインでまとめた。

## 平が崎（今津）県営住宅

所在地  
構造規模  
基礎地業

高島郡今津町平が崎（現：高島市）  
W造地上2階  
直接基礎

延床面積 858.68㎡  
工期 平成7年3月～平成7年12月



県営住宅はかねてから不燃化の方針で整備を進めてきたが、多様な建築工法の進展に伴い木造の活用が可能となったことと、住宅産業への啓発の主旨もあって、当団地の建て替えにあたり、木造を採用することとした。

従来の公営住宅とは異なった構法と木のやわらかさを生かした建築計画となっており、新たな住まいづくりの方向を目指した住宅環境が構築されることとなった。

## 甲良養護学校

所在地  
構造規模  
基礎地業

犬上郡甲良町金屋900  
RC造、S造地上2階  
既製高強度鉄筋コンクリート杭

延床面積 6,998.43㎡  
工期 平成7年6月～平成8年3月



当施設は、地域の保健や福祉との連携強化と通学時間の短縮および適正就学の推進を図ると共に、既存養護学校の規模適正化を狙って、肢体不自由および精神薄弱の児童、生徒を対象として建設されたものである。

建設地は鈴鹿山系の麓、甲良町の名神高速道路に近い場所で、山並みの自然と田園に囲まれた場所に位置しており、建物にも自然に溶け込むデザインの配慮がされている。内部は、床、腰壁、手摺などを木製とし、トップライトなどで明るい雰囲気を得られるように工夫された。

## 石部高等学校

所在地  
構造規模  
基礎地業

甲賀郡石部町石部4846-1(現:湖南市)  
RC造、S造地上4階  
既製高強度鉄筋コンクリート杭

延床面積 2,323.63㎡  
工期 平成7年7月～平成8年3月



当校は、滋賀県で初めて「総合選択制」の教育課程を導入し、生徒各自が環境科学、国際教養、理数、人文社会、流通経路の五学科から科目選択することが認められる高等学校として、平成8年度に開校された。

建物は、新しい教育システムを目指した設立主旨を受けて、斬新な建築計画をイメージ付ける外観が提案され、地域開放、情報システムネットワークの導入等、空間計画においても交流とやすらぎの空間造りに工夫が凝らされている。

## 県立ヨットハーバー艇庫

所在地  
構造規模  
基礎地業

大津市柳が崎 1 - 2  
R C 造、S 造地上 3 階  
既製高強度鉄筋コンクリート杭

延床面積 5,339.02<sup>m</sup><sup>2</sup>  
工 期 平成 7 年 10 月 ~ 平成 8 年 10 月



琵琶湖におけるセーリングスポーツの拠点基地として、ヨット競技の普及振興と競技力の向上を目指し、老朽化し機能低下していた既存施設を撤去し全面改築された。建設場所は、大津市西部の琵琶湖岸に位置した水上スポーツ、レジャーなどの環境にめぐまれた位置にある。

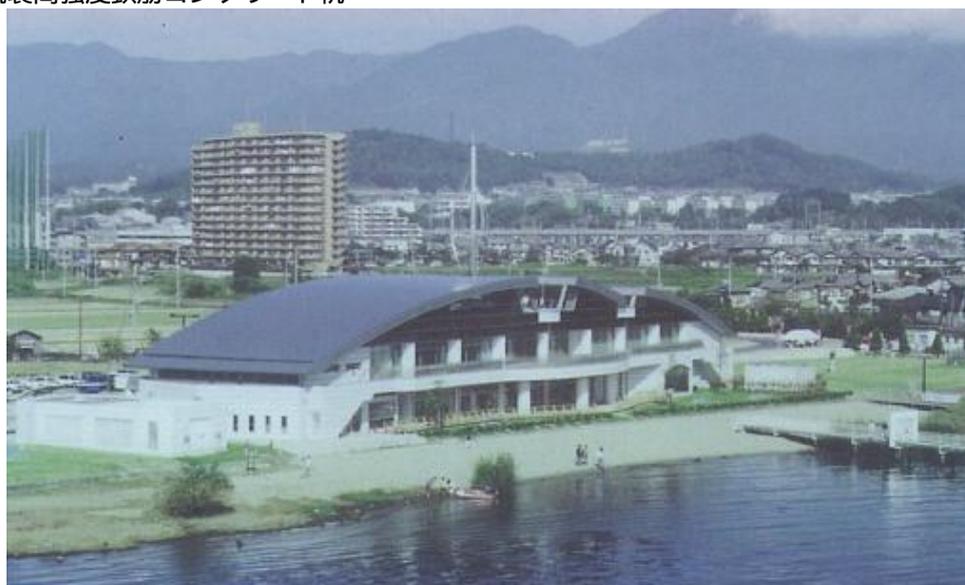
建物も琵琶湖の景観にふさわしい外観を帆柱のイメージとガラス面で構成しシンプルなものにまとめられ、建物内部は 1 階と 2 階に最大 317 艇のディンギーヨットを収容できる艇庫、3 階と屋上には 95 台の駐車場を設けている。

## 道の駅・琵琶湖大橋米プラザ

所在地  
構造規模  
基礎地業

大津市今堅田三丁目 90 - 1  
R C 造、S R C 造地上 2 階  
既製高強度鉄筋コンクリート杭

延床面積 2,085.97<sup>m</sup><sup>2</sup>  
工 期 平成 7 年 10 月 ~ 平成 8 年 8 月



当施設は、道路交通の憩いのスポットとして県が主要道路に建設を進めている施設の一環として、有料道路琵琶湖大橋のたもとに、県の中心産業である農業の「近江米」や郷土料理の紹介をはじめ滋賀県の観光案内をするための施設として設けられたものである。

建設場所は、琵琶湖に面して湖上観光船の寄港地にもなっており、建物のテラスからは湖岸の砂浜へとつながる場所にある。建物も、琵琶湖の波と湖上に浮かぶ船のマストをイメージしており、外壁のガラスも湖を写し、自然と一体感のあるデザインとなるよう工夫がされている。

## びわこモーターボート競争場

所在地	大津市茶が崎	延床面積	12,848.20㎡
構造規模	SRC造、S造地上5階地下1階	工期	平成8年3月～平成10年2月(第1期)
基礎地業	既製高強度鉄筋コンクリート杭(セメントミルク工法)		



当施設は、昭和27年に設立された後、増築、改築等を繰り返しながら公営競技施設として運営されてきたものを、観客の新しいニーズに応えるとともに明るいイメージの娯楽施設として蘇らせるために建替されることになった。建設地は、琵琶湖岸に位置して国道に挟まれた細長い範囲に限られ、競走水面を観覧席から良好に眺めることができるように、建物総延長も300mに及ぶ計画となっていた。

当工事は第1期としてその約4分の1を建設するもので、周囲の街並みとびわこの景観になじむように勾配垣根とアースカラーの外壁でまとめている。工事は競技を開催しながらの施工が求められ、工事仮設等に施工関係者の努力と工夫が重ねられて進められた。

その後、設計が見直され、工事は第2期で残る工区の改築が実施された。

## 福祉用具センター

所在地	草津市南笠町新池110-1	延床面積	1,493.42㎡
構造規模	RC造地上2階	工期	平成8年3月～平成8年11月
基礎地業	既製高強度鉄筋コンクリート杭		



高齢化社会の進展、ノーマライゼーションの気運の高まりの中で、高齢者や障害のある人たちが生活の場を広げ、様々な分野で活動できるように利用者の相談に応じ、福祉用具の製作、改造、装着テストなどを行い、更に福祉用具に関する技術開発などに対応する施設として、全国に先駆けて建設された。

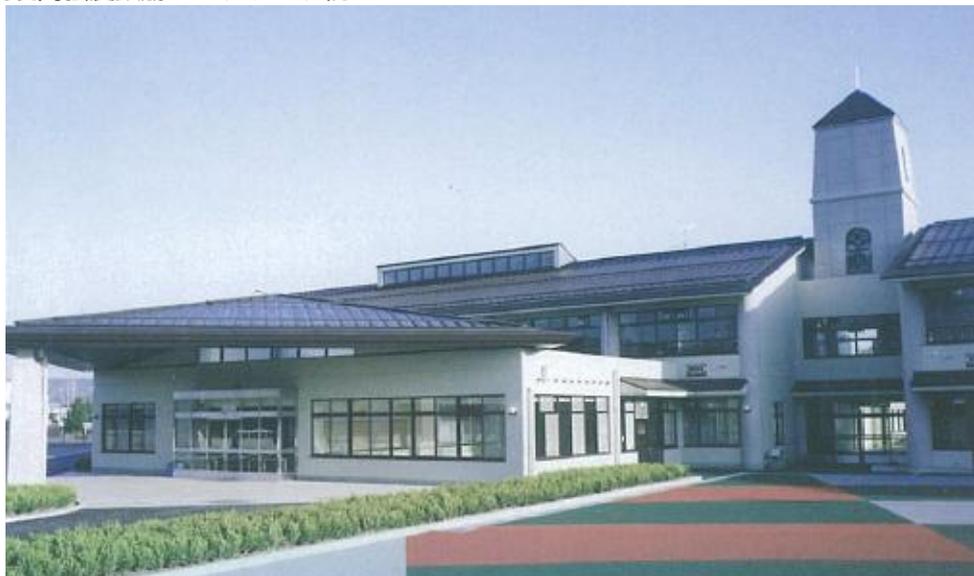
建設場所は、福祉関係施設の長寿社会福祉センターに隣接した「びわこ文化公園」の一角に位置しており、緑に囲まれた環境の中でも隣接の施設との調和を図ったものとして建設された。内部仕上げも、床、腰壁などにはできる限り木質系の素材を使用し、やすらぎと暖かみのあるものとされている。

## 新旭養護学校

所在地  
構造規模  
基礎地業

高島郡新旭町太田（現：高島市）  
R C造地上2階  
既製高強度鉄筋コンクリート杭

延床面積 6,001.16㎡  
工期 平成8年6月～平成9年3月



高島地区における障害児教育および地域福祉を推進すると共に、長時間通学の解消を図るため旧高島郡を校区として建設された養護学校である。

建設地は、安曇川下流の琵琶湖岸の田園に囲まれた自然豊かな場所に位置し、建物も周囲の風景に調和するよう切り妻の勾配屋根とし、各教室が南に面するように配置計画し、屋外のプレーゾーンとなる中庭やグラウンドを北風から守るよう配慮された。

内部は、広めの廊下を中央に配置してトップライト、吹き抜け空間等で自然な明るさを取り入れ、仕上げの木質系素材と共にあたたかい内部空間を造り上げる工夫がされている。

## 県立大学湖沼環境実験施

所在地  
構造規模  
基礎地業

彦根市八坂町  
S造地上2階  
既製高強度鉄筋コンクリート節杭（セメントミルク工法）

延床面積 742.70㎡  
工期 平成8年6月～平成9年3月



当施設は、滋賀県立大学の附属試験機関として、また、琵琶湖環境に関する学術上の試験研究施設として、大学の敷地に隣接した琵琶湖岸に建設された。

建物は、研究部門と試験部門を中心に配置し、隣接する県水産試験場との技術交流にも配慮しながら有効に活用できるように計画されている。

建物は、小規模ながら県立大学のデザインコンセプトを受け継ぐもので、勾配屋根とアースカラーの自然に溶け込む仕上げとなっている。

## 水口総合庁舎

所在地  
構造規模  
基礎地業

甲賀郡水口町水口6028-1(現:甲賀市) 延床面積 9,899.13㎡  
RC造地上4階 工期 平成8年10月~平成10年3月  
既製高強度鉄筋コンクリート杭



当施設は、旧甲賀郡内の県行政機関の分散と老朽化にともない、行政サービスの効率化と新しい機能拡大に対応できるように総合庁舎として整備したものである。

建設地は、旧郡内の中心であった水口町で行政関係機関を近接してまとめる行政ゾーンに位置しており、旧市街地の外部で野洲川沿いの閑静な場所にある。

建物は、県事務所各課、土木事務所、保健所、福祉事務所と職員会館、付属別棟をコ型に配置し、県事務所、土木事務所の入る本館は4階建てとし、福祉関係庁舎2階建てにまとめ、本館につないで職員会館が設けられている。

外観は、行政庁舎の質実剛健さと周囲田園に溶け込む勾配屋根の組み合わせでまとめられ、屋根面の一部には環境を配慮したソーラーパネルも設置されている。

## ピアザ淡海

所在地  
構造規模  
基礎地業

大津市におの浜一丁目1-2 延床面積 26,179.00㎡  
SRC造地上10階地下1階 工期 平成8年10月~平成10年12月  
場所打ち鉄筋コンクリート杭



ピアザ淡海は、地方公務員共済宿泊施設、自治研修施設、県民交流施設、海外渡航旅券発給施設からなる複合施設で、既存の各施設が分散されていたものを一つの建物にまとめ、宿泊、研修、会議、文化活動、県民活動、国際交流等の有効活用による相乗効果を期待して建設されたものである。

建設地は大津市琵琶湖岸のなぎさ公園に接した芸術劇場びわこホールの隣接地で、建物のデザインにも整合と調和に配慮している。また、琵琶湖に向かっての景観上の調和を図るべく、道路の屈曲部に併せたカーテンウォールのガラス面が水面に映えるように計画されている。

内部の各室からも琵琶湖や比良、比叡の山並みを展望することができるように配置計画され、宿泊をはじめ施設利用者に快適な利用環境を提供できるように工夫されている。また、設備面ではコ・ジェネレーション型発電機の採用が大きな特色である。

工事の施工には、湖岸の狭い敷地環境の中で新しい施工技術を駆使しながら平成11年の施設オープンに向けて工事関係者の努力が続けられた。

## 土木技術管理センター（現：建設技術センター）

所在地 草津市野路町東浦1686-1  
 構造規模 (本館棟) RC造地上2階  
 延床面積 (本館棟) 1,425.91㎡  
 基礎地業 既製高強度鉄筋コンクリート杭

工期 平成9年3月～平成10年3月  
 構造規模 (試験棟) RC造地上1階  
 延床面積 (試験棟) 449.08㎡

### ▶ 本館棟



### ▶ 試験棟



当施設は、滋賀県の土木建築行政における技術研究、試験機関として建設されたもので、本館棟においては公共工事の技術研修をはじめ技術情報の収集、普及、啓発等を、また試験棟においては、工事使用材料の公的な試験施設としての活用が期待されている。

建設地は、住宅地の近傍であるが、道路を挟んで事務研修棟と試験棟を配置しており、それぞれの機能を干渉することなく運営されることから効果的な関係にある。

建物外観は、技術研究機関にふさわしい格式を持ったものとなるように配慮され、躯体外壁も壁面構成に工夫がされている。屋根は曲面にまとめ、ガラス壁面とのバランスを持たせている。

## 事業内職業訓練センター

所在地 大津市南郷五丁目2-14  
 構造規模 S造地上1階  
 基礎地業 既製高強度鉄筋コンクリート杭（セメントミルク工法）

延床面積 1,211.92㎡  
 工期 平成9年5月～平成10年1月



当施設は、県下の中小企業における職員の技術訓練、研修を事業単位で実施できるように県が施設を提供し、一定期間にわたって各企業が研修を行い、新しい技術者を育成することによって企業の技術力の向上と活性化を図ることを目的として設けられたものである。

建物は、旧湖南職業訓練校の跡地を活用して建設され、本館研修棟と実習棟に区分し、それぞれの目的に応じて利用される。周囲を住宅に囲まれた環境から、平屋建て小規模ではあるが曲面屋根でまとめたデザイン計画がなされた。

## 県立アイスアリーナ

所在地	大津市瀬田南大萱町	延床面積	7,500.00㎡
構造規模	R C造、S造地上2階	工期	
基礎地業	既製高強度鉄筋コンクリート杭		



この施設は、県民の冬期スポーツの関心の高まりに対し、室内競技に対応可能なアイスアリーナを建設することとなったものである。

建設地は大津市南部の丘陵地で「びわこ文化公園」の西端に位置し、周辺の山並みを背景とした豊かな自然環境の中でスポーツを契機として人々が集い、新たな交流活動の拠点となるよう「丘の風景」をテーマとしてデザインされた。

建物内部は、約 2,000 席の観覧席を持つ 60m×30m のスケート競技の公式リンクを備え、また夏期には、屋内体育館として各種スポーツが楽しめる機能を併せ持ったものである。

## 八日市南高等学校セミナーハウス

所在地	八日市市春日町 1 - 15 (現：東近江市)	延床面積	499.95㎡
構造規模	S造地上2階	工期	平成9年10月～平成10年3月
基礎地業	直接基礎		



当施設は、課外学習としての宿泊研修とクラブ活動等の合宿に活用できるよう計画され、平成9年度に着工することとなったもので、校内の限られた敷地の中で利用目的にかなった場所として校舎正門横に建設された。

建物は、1階に食堂とミーティング・ルームを兼ねた部屋と浴室、洗濯室が設けられ、2階部分に宿泊室を利用目的にあわせ大小区分して設けられた。外観は、勾配屋根とタイル貼りの外壁で構成され、公舎とは異なったくつろげる雪間気の建物とされた。

なお、本工事の設計にあたっては建築課の若手技術者が担当し、学校側と建築担当者の度重なる協議の上、設計をまとめたものである。